

レボセチリジン塩酸塩シロップ 0.05% 「ニプロ」

【この薬は？】

販売名	レボセチリジン塩酸塩シロップ 0.05% 「ニプロ」 Levocetirizine Hydrochloride Syrup 0.05%
一般名	レボセチリジン塩酸塩 Levocetirizine Hydrochloride
含有量 (1 mL 中)	0.5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アレルギー性疾患治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、アレルギーの原因となる物質（ヒスタミン）や炎症をおこす物質の作用を抑え、アレルギー症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

【成人】

アレルギー性鼻炎

蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症

【小児】

アレルギー性鼻炎

蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にレボセチリジン塩酸塩シロップ 0.05%「ニプロ」に含まれる成分あるいはピペラジン誘導体（セチリジン、ヒドロキシジンを含む）で過敏な反応を経験したことがある人
- ・腎臓に重い障害がある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・腎臓に障害のある人
- ・肝臓に障害のある人
- ・高齢の人
- ・てんかんなどのけいれんを起こす病気のある人、または過去にこれらの病気を起こした人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

特に腎臓に障害のある人は慎重に飲む量と回数が決められます。

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

	成人	小児		
		7歳以上 15歳未満	1歳以上 7歳未満	6ヵ月以上 1歳未満
一回量	10mL*	5mL	2.5mL	2.5mL
飲む回数	1日1回 (就寝前)	1日2回 (朝食後と就寝前)	1日2回 (朝食後と就寝前)	1日1回

*ただし、1日最高量は20mLです。

●どのように飲むか？

決められた1回量を、計量カップ、スポイトなどではかり、飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

傾眠（眠気でぼんやりする）があらわれることがあります。特に小児では感情が激しくたかぶる、落ち着きのなさがあらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、すぐに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠気があらわれることがありますので、この薬を飲んでいるときは車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないでください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。

- ・授乳を中止してください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸、じんましん、判断力の低下
痙攣 けいれん	けいれん
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、からだがだるい、ふらつき、けいれん
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下
顔面	血の気が引く、ほてり、鼻血
眼	眼と口唇のまわりのはれ、白目が黄色くなる
口や喉	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、吐き気、嘔吐（おうと）、歯ぐきの出血
胸部	息切れ、息苦しい、動悸、吐き気
腹部	食欲不振、吐き気
皮膚	じんましん、かゆみ、皮膚が黄色くなる、あおあざができる、皮下出血
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる
その他	判断力の低下、出血が止まりにくい

【この薬の形は？】

剤形	シロップ剤
色	無色
性状	無色澄明の液

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	レボセチリジン塩酸塩
添加物	酢酸ナトリウム水和物、酢酸、粉末還元麦芽糖水アメ、グリセリン、パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸プロピル、サッカリンナトリウム水和物、トコフェロール、バニリン、香料

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

販売会社：ニプロ株式会社（<http://www.nipro.co.jp/>）

医薬品情報室

電話：0120-226-898

受付時間：9時～17時15分

（土、日、祝日、その他弊社休業日を除く）

製造販売会社：東亜薬品株式会社（<https://www.toayakuhin.co.jp/>）